

## 鍼灸事例5(今回は訪問鍼灸施術の事例)

### 【 鍼灸施術により経過良好で施術終了となった事例 】

Dさん(60代・男性)は、クモ膜下出血の後遺症により、運動麻痺(軽度)、左上肢・下肢の疼痛と痺れが続いていました。また、夜間に痛みが強く、睡眠にも支障が生じていました。睡眠薬でも十分な睡眠が取れないことから、ご本人から鍼灸施術を受けてみたいとご連絡をいただきました。

さっそく主治医および担当ケアマネジャーと連絡・連携をとり、鍼灸施術の同意が得られたため、週2回の頻度で、Dさんのご自宅での訪問鍼灸施術が開始されました。

開始して約1ヶ月が経った頃から、「施術当初に比べて夜間時の左上下肢の痛みと痺れが落ち着き、そのおかげで、最近良く眠れるようになりました」と喜ばれるようになりました。その後、左上肢・下肢の疼痛と痺れは徐々に軽減し、眠れない日も減っていきました。



しかし寒い季節になると、左麻痺側の疼痛や痺れが増悪したり、頸部や腰部が痛んだりしました。その都度、鍼灸施術を行うと、治療直後から「痛みが和らいで、楽になる」と仰ってくださり、調子も順調に良くなっていきました。

昨年は、愁訴や身体状況が落ち着く日が増え、天候に関わらず、体調が安定した様子でした。ご本人も「経過が良く、辛さも軽減したので、今後は自分で調子をみながら過ごしていきたい」と仰いましたので、本年1月をもって施術終了と致しました。

担当ケアマネジャーからは、「Dさんが鍼灸施術を受け始めてから痛みも軽減して眠れるようになったし、日頃の出来事やちよつとした話にもしっかり聞いておられた事に、ご本人はとても喜んでおられました。」と仰って下さり、日頃意識している、心身両面からのサポートができていたのだと感じ、嬉しく思いました。

症状改善のため、施術終了のご報告を主治医と担当ケアマネジャーに書面にて提出し、この事例は終了となりました。しかし、今回のように経過良好ばかりではなく、愁訴や日常生活動作に改善がみられない事例は多いです。

今回の事例は、鍼灸施術が脳血管障害後遺症の疼痛緩和と睡眠障害に有効であったことに加え、施術を通したコミュニケーションの在り方が功を奏したと感じられたものでした。今後の臨床においても、症状の改善だけでなく、気持ちの上でもサポートしていけるように、寄り添って参りたいです。

(こぼり治療院・三枝)

## 当師会の主催で「健康講座」を開催しました



### 【 セルフケアに熱い視線 】

本年1月19日(日)の午後、イースホールにて市民対象の健康講座を開催いたしました。「首肩こり・腰痛・膝痛のツボ養生法～すぐに使える体験型講演会～」と題し、筑波技術大学名誉教授であり、医学博士でもある形井秀一先生(洞峰パーク鍼灸院)が講師を務めて下さいました。

東洋医学では「病気になる前に、病気の芽をつむ」ことが非常に大切な考え方であり、施術にも反映されてきます。「病気にならない生活の仕方」のことを「養生(ようじょう)」と言います。形井先生は、「カラダの声を聴き、それを大切に、日々の生活の中で健康を維持・増進することが「養生」であり、体調と気持ちを整え、健康な生活を心がける」ことだと説明されました。

初めての当師会主催の講演会であり、慣れぬ広報に加え、年末年始を挟んで短期間であったこともあり、集客は不安でしたが、実に70名ほどの参加者が集まり、盛況でした。今後も、健康講座を開催して参りたいと考えております。

最後までお読みいただき、ありがとうございます。  
当会や在宅医療マッサージ、東洋医学について、  
ご興味・ご関心をお持ち頂きましたら幸いです。

### ◆ つくば鍼灸マッサージ師会

平成6年からつくば市内で活動している鍼灸・按摩マッサージ指圧の国家資格を持つ同業者グループです。

つくば市において、鍼灸やマッサージ、東洋医学という医療手段を広めるべく、さまざまな形で活動しております。(2020年2月現在、マッサージ師16名・鍼灸師11名:計18名所属)

発行責任:事務局・つくば草の根はりきゅう院

編集局:こぼり治療院

連絡先は裏面をご参照ください。

◆ホームページ随時更新中!

<http://www.tsukubashikai.com/>



つくば師会